

## 4 OJTに取り組んで

### 成果

- テーマに関する資料を使用して研修を行うことから、それぞれ蓄積してきた指導のノウハウが紹介されるので、自分の指導と他の教員の指導との共通点や相違点、力点の置き方等を学び合うことができ、教師力を高めることにつながった。
- 指導の位置づけ、意味等を確認することができるので、教師一人一人が日常の指導の意義や意味を見つめ直すことができた。
- 若手教員や中堅教員にとってはベテラン教員からの「教師力の継承」という場にもなり、それぞれの立場で切磋琢磨することで、教師力・組織力、ひいては学校力の向上につなげることができた。
- 振り返りシートを記入することで教職員一人一人が課題意識を持ち、OJTの必要性を感じることもできた。また、教職員間の同僚性を高めることにつながった。
- 教職員は日常の指導で多忙であるが、それでも研修の必要性を感じることもできる取組とすることができた。

#### 《先生方の声》

教職経験の多い少ないや年齢の差を超えた内容となり、毎回多くの新鮮な価値観に触れることのできる機会となった。【50代 男性】

年齢に関係なく（年齢それぞれに段階はあるが）、教職員としての悩みは同じようなものであり、それを乗り越えながら成長していく姿が大切だということを共有できた。【50代 女性】

グループ研修の度にレポートの提出を求められたが、簡単なレポート1枚を作成するだけでも、自分にとっては今までの実践を振り返り、反省する機会となった。また、若手の先生方が何につまずいているのかを知る機会ともなり、現場の課題が見えやすくなった。【50代 男性】

同じ課題でも、様々なアプローチの方法があり、有効な手立てを数多く共有できた。でも、大事な核心部分は共通であったことは発見であったし、納得した。【40代 男性】

身近な話題について、他学年の先生方とザックバランに話し合うことで、新しい発見や、より良い改善法を見出すことができ、有意義な時間を持てた。いろいろな手立てがあることを学ぶことができた。【40代 女性】

色々な先生方の取り組み方や考え方を聞くことができよかったです。こういう機会がないと、なかなか教育に対する考え方を語り合うことがないので、参考になった。【30代 男性】

普段、悩んでいることやどのような対応をしていけばよいのか分からないことなどを共有することで、同じことで迷っていることに気付いたり、今後の指導のヒントになったりと、様々な事を学ぶことができた。【30代 男性】

授業や部活動、個別の生徒や保護者の対応は、他の先生の様子を見たり、見られたりする機会は少ないので、これらの様子を情報交換できるのは大変有意義だった。【30代 男性】

様々な先生方の意見を聞き、指導の方向性の見通しが図れた。教室の中の見えづらい所に「こだわり」を持っている先生方が多いことに驚いた。まだまだ足りないところがあることを学んだ。【30代 男性】

自分の悩みや疑問に思っていたことを取り上げてもらえ、他の先生方から適切なアドバイスをいただいた。【30代 女性】

多くの先生方の実践例や経験を聞き、大変勉強になりました。自身もレポートを提供することにより、振り返りにもなりました。短時間ながら、とても充実した研修ができています。【30代 女性】

先輩方、ベテランの先生方も、昔は自分と同じような悩みを抱えていたのだと知りました。通信票の作成や学級懇談会のもち方などについての貴重なノウハウを学ばせていただきました。【20代 男性】

悩みが共有できたこと、新たな考え方や方法、手段が学べて良かったです。【20代 女性】

## 今後に向けて

- これからも継続的に OJT を実践していくために、研修時間の確保に努めることが課題である。それを克服するために、年度当初教務主任と相談して、部活動中止期間中に放課後 30 分の研修時間を確保する。ただ、実際実施するときになると出張・生徒指導等が入ってしまう教職員もいるため、研修のグループが成立しない場合もあるが、その際は他のグループに合流して研修を行うなど、グループ編成の調整を行う。
- 教職員一人一人の要望に応える研修テーマの設定を行うために、年度末にテーマの希望調査を実施し、今後も必要性を感じることができる研修の企画・立案を行う。
- テーマに関する資料（レポート）の作成に負担を感じる教職員もいることから、職員会議等で校内研修（現職教育）の意義についての説明、資料の形式の簡略化により努め、財産となる資料の作成への協力・理解を得られるようにする。